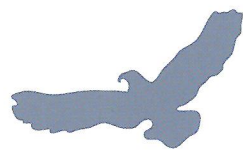


圓鏢勝三彫刻美術館

令和3年度特別展

鳥 の 話



令和3年 9月7日 火

▶12月12日 日

開館時間／午前9時から午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）

入館料／大人420円（340円）高校生310円（250円）
※（ ）内は20名以上の団体料金

中学生以下・70歳以上、各種手帳（ミライID可）をお持ちの方は
証明できるものを提示により無料

※日時が変更になる場合がございます。

お問い合わせいただくかホームページ等でご確認の上ご来館ください。

※館内では感染症対策を実施中です。ご協力お願いいたします。



圓鏢勝三彫刻美術館
ENTSUBA KATSUZO SCULPTURE MUSEUM
〒722-0353 広島県尾道市御調町高尾220番地
TEL.(0848)76-2888 FAX.(0848)77-0071



上「鳥」 下「青い鳥」

《主 催》圓鏢勝三彫刻美術館・中国新聞備後本社

《共 催》尾道市立美術館

《後 援》尾道エフエム放送・株式会社ちゅピCOMおのみち・エフエムふくやま



令和3年度特別展



えん づば かつ ぞう

圓鏢勝三 鳥の話

彫刻家・圓鏢勝三は 1905 年広島県御調郡河内村（現尾道市御調町）に生まれました。彫刻家を志し、16 歳で京都の彫刻師である石割秀光の内弟子となります。23 歳で上京し澤田政廣に師事。日展や日彫展などで活躍しました。自由な発想、イメージによる彫刻を相次ぎ発表し、全国各地に野外彫刻など記念像を制作しています。また、多摩美術大学で教鞭をとり、後進の育成にも尽力しました。その功績が認められ、1988 年には文化勲章を受章。尾道市名誉市民、広島県名誉県民となっています。多くの作品を残し、現在でもその彫刻は人々に愛され続けています。

本展では、圓鏢勝三の身近なモチーフであった“鳥”をテーマとした作品を中心に約 70 点を展示いたします。初展示の作品もごさいますので、ぜひ圓鏢芸術をご堪能ください。



今では一羽の鳥も
いないのに、
いつのまにやら
鳥が描きたくなる。

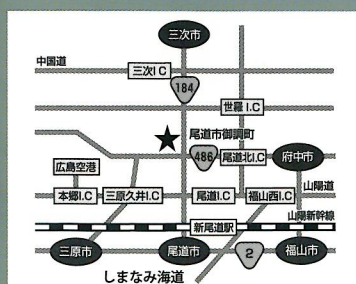
左上から

- 「雉」
- 「白い鳩」
- 「果実器」
- 「鳥」

右上から

- 「ふくろう」
- 「ふくろう」
- 「鳥二羽」

＜美術館までのご案内＞



【交通機関】

【JR・バス利用】
JR尾道駅、JR新尾道 駅から
中国バス「甲山」行きに乗車、
「道の駅クロスロードみつぎ」下車タクシーで
10分

【車利用】

東・北からは、尾道自動車道・尾道北IC經由、
西からは山陽自動車道・三原久井IC經由国道
486号線で御調町へ、国道184号線經由で府中分
かれ交差点を左折して約5分

